

2019.8.29 (木)
第8回例会
(通算 3561回)

2019-2020年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「CONNECT！ロータリーをよく知って より大きい輪をつくらう！」

第83代会長	天方 智順	例会日	毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
副会長	後藤 公貴	例会場	釧路センチュリーキャッスルホテル
幹事	松井 聖治	事務局	釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
編集責任者	クラブ会報雑誌委員会	☎	0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2019-2020 年度
国際ロータリーテーマ



2019-2020 年度 RI 会長
マーク・ダニエル・マロニー
第 2500 地区ガバナー
吉田 潤司 (釧路 RC)

月間テーマ	会員増強・新クラブ結成推進月間
本日のプログラム	新入会員歓迎例会 (担当: クラブ研修委員会)
次週例会	30分でわかる日本のメディア業界 (担当: プログラム委員会)

■ロータリーソング: 「それでこロータリー」 ■ソングリーダー: 萩原 国彦君

■会員数 100名 (2019年8月30日)

■ビジター なし

■ゲスト なし

■ニコニコ献金

新井 剛君・・・ファイターズ二連戦、時々当事務所が画面に映りました。
ぎゅう太さんには負けませんが。

後藤 公貴君・・・なゆたの会、私としては好成績でした。

馬場 雅嗣君・・・先日の職場訪問例会では、北電の電力部をごらん頂き誠にありがとうございます。

萩原 国彦君・・・ノロック号通算 200 万人、9 月 1 日に達成します。

邵 龍珍君・・・日ハム戦で何度となく三塁ベンチ上にぎゅう太の宣伝をさせて頂きました。

今年度累計 111,000 円

会長の時間

天方 智順会長

皆さん、こんばんは。3週間振りにキャッスルホテルの例会です。皆さんお元気でお過ごしでしょうか。今年度が始まりまして2カ月が経とうとしております。本当に月日が経つのは早いもので、ホームページを見ていましたら「地区大会まで40何日」というカウントもあるようでございます。



今日、昼間ちょっと会合がありまして、一緒に食事をとりましたけれども、たまたま釧路北クラブのメンバーが近くにおりまして、言われたことが「釧路クラブさん、地区大会大変ですね」と。お二人とも入会が浅いメンバーでございましたので「地区大会に出席したことがない」とおっしゃっていました。「そうですか。楽しみにしています。どうぞよろしく願います」、

半分のんきなものだなと思っていました。それは主幹クラブとそうじゃないクラブの差なのかと思いますし、なによりも笑顔で同じ第7分区のメンバーの皆さんにも出席していただきたく思っております。

大会があると、訳ありの年になると、新入会員が増強されるようでございます。ご多分に漏れず本年度も皆さんのご協力をもって多くの新入会員をお迎えし、今日もお二人の新入会員をお迎えすることができました。地区大会へ向けてより多くのメンバーで向かって行きたいと思っております。

今日は、夜間例会でございます。皆さんと楽しい1日、一時を過ごしたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

新入会員紹介

新入会員紹介 スポンサー 木下 正明 会員

それでは、ご紹介をさせていただきます。日銀の山崎支店長様の後任として来られました日本銀行釧路支店、熊谷任明さんです。

お生まれは、昭和43年4月22日で、現在51歳でございます。奥さまは当然おひとりで、お子様は、



6歳の男のお子様がおひとりいらっしゃいます。ご家族もお連れいただいたということで、なかなか単身で来られる方が多い中、大変ありがたいと思います。

ご出身を聞いて、私は、世田谷区の弦巻小学校に通っていましたが、自分の家の前の道路を隔てた向こう側が深沢小学校だったのですが、その深沢小学校出身ということで大変勝手に親近感を抱いているところの、東京出身の熊谷さんでございます。

あちらに池上第二小学校出身の前田君もいますけれども、近場で固まって今日は二次会へ行きたいと思っております。

それでは、本人から自己紹介をいただきたいと思えます。熊谷さん、よろしくお願いいたします。

新入会員挨拶

日本銀行釧路支店 支店長 熊谷 任明会員

皆さま、初めまして。日本銀行釧路支店長の熊谷と申します。本日、歴史と伝統ある釧路ロータリークラブご入会をお認めいただきまして誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

いま、ご紹介を頂戴しましたけれども、東京出身でございます。北海道勤務は初めてでございます。ただ大学4年生のときに10日ぐらいかけて北海道を



旅行して、もちろん全部は回れなかったのですが、道東地区ということで申し上げますと釧路・摩周湖・網走の方まで足を伸ばしております、釧路へ来るのはそれ以来でございます。昨年も、道東ではなかったのですが北海道に1週間ぐら家族で旅行をしております、ということで北海道は私自身、3回目でございます。

もちろんロータリーの存在は知っていました。私の支店勤務は2回目でございます、最初は1992年～94年、平成4年～6年なので、もう30年近く前ですけれども熊本支店で勤務をしておりました。当時の支店長の「今日はロータリーだ、ロータリーだ」という話を聞いて、ロータリーってどんなところなのだろうと思っていましたけれども、今日このような機会を得まして参加することができて大変光栄に存じま

す。微力ながら貢献してまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

新入会員紹介 スポンサー 杉村 莊平会員

よろしくお願いいたします。ご紹介をさせていただきます。こちらにいらっしゃいますのが得地哉さんでございます。得地ファニチャ工業さんという家具製造の会社の二代目でございます。高校の1つ後輩になります。



昔からよく知っている人間でございますが、今回、私もがんばっております3～4年ぐら通いま

したかね。やっとムリクり返事をいただきましてご入会の運びに至りました。ありがとうございました。

ご家族は、奥さん、ご長女、ご長男の4人家族となっております。奥さんとお子さんが基本的には札幌に営業所があって二代目になれる前は札幌の責任者になったものですから、今は社長だけ釧路で、ご家族は札幌という逆単身赴任状態になっておまして、酒でもゴルフでもなんでも来いということでございますので皆さんぜひお付き合いをしていただければと思います。

お酒の方は、僕が知っている限りでは本当にザルです。いくらでも飲めますので本当に皆さんお酒の方をぜひ誘っていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

こう見えてもけっこう頑固なところもあって1本筋が通っているすごく良い男でございますのでぜひ皆さん仲良くしていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、得地さんからご紹介をよろしくお願いいたします。

新入会員挨拶

得地ファニチャ工業株式会社

代表取締役社長 得地 哉会員

皆さん、こんばんは。ただいまご紹介に与りました、大変ご丁寧なご紹介をいただきまして感謝しております。ありがとうございます。得地ファニチャ工業の得地と申します。どうぞよろしくお願いいたします。



まずは、歴史と伝統ある当釧路ロータ

リークラブにご入会をさせていただきまして本当に感謝しております。ありがとうございます。

先ほど杉村さんの方からお話しがあったのですが、でも、ずっとお誘いをいただいていたがなんとなく濁しつつも、でも興味がなかったわけではないので、いつかはという感じだったわけですが、いよいよ杉村さんと浅川さんの方で「なんとかお前、入れ」ということがあったものですから思い切ってこの場所に飛び込ませていただきました。8月の第1回目の例会のときにご招待をいただきまして、お話しをお伺いしましたけれども、そのときに出席された方はご覧になったかもしれませんが、そこに私は着席させていただきまして、例会終了とともに浅川さんと杉村さんがダッと走って来て、バツと入会申込書を置いて「書け」という感じで、出来の悪い子どもが居残りをさせられているような状態で、入会申込書を書かせていただきました。

これもなにかのご縁ですので本当に感謝しております。今後どのように自分が活動していけるか全くわからない状況ですので、某青年会議所時代のときから知っている方もたくさんいますし、仕事の関係で知り



合いの方もいらっしゃるかもしれませんが、なにとぞご教示いただきまして、がんばっていきたく思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。ありがとうございます。

新入会員へ歓迎挨拶 天方 智順 会長

お二人の入会、誠におめでとうございます。熊谷さん、得地さん、お二人とも親睦活動委員会に配属されます。市橋委員長が今日いらっしゃらない、白幡副委員長、そして佐藤貴之副委員長です。どうぞよろしくお引き回しの程をよろしくお願いいたします。

いつも新入会員が入る度に言い古されている言葉ですが、せっかく入会されましたので、参加してくださいとなにも得るものがないのかなと思います。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の方で、決して「君子危うきに近寄らず」ではございません。どうかお二人とも積極的なご参加をお願いいたします。以上であります。

■本日のプログラム■ 新入会員歓迎例会

開会の挨拶

クラブ研修委員会 木下 正明委員長

皆さん、こんばんは。あいさつをさせていただきます。7月から天方年度で8名の新入会員に入会をいただいております。本日5名の方にご参加をいただいております。皆さんで歓迎をしていきたいと思っております。



本日ご入会いただきました日本銀行の熊谷さん、得地ファニチャ工業の得地さん、NHKの武久さん、釧路スズキ販売の青木さん、あんずカンパニーの須藤さん、ということで5名が今日参加しておりますので皆さんで盛り上げていただきたいと思っております。

新入会員の方々におきましては、天方会長からもお話しがありましたが、たくさん出席をいただいて皆さんとなじんでいただくことで本当に楽しいロータリーライフを送れると思っております。

それと、吉田潤司ガバナーの下、私・木下地区幹事の下、皆さんには大変よく働いていただきたいと思っております。10月11～12日は必ずフル出席をお願いいたします。小さく、可能であったらでございますが、ということでよろしく願いいたします。本当に皆さんとなじんでいただけたらと思っております。今日はよろしく願いいたします。

乾杯のご発声

クラブ広報・会員組織委員会

杉山 宏司委員長

改めまして、こんばんは。新入会員の皆さん、ロータリーに入会されまして心から歓迎申し上げます。

歴史と伝統ある我がクラブも100名の大台になりました。これから益々活発に活動していただくのですが、新入会員の皆さんにおかれましては



例会と各事業に積極的に参加していくということが非常に大事なことになります。経験をすれば得られる価値がありますので、しっかりこれからロータリーライフを楽しんでいただきたいと思っておりますのでよろしくお

願います。

それでは、乾杯をしたいと思いますので、ご唱和をよろしく願います。

入会おめでとうございます。

(乾杯)

新入会員スピーチ

株式会社釧路スズキ販売 青木 泰憲会員

皆さん、こんばんは。今月入会をさせていただいたばかりで、1回目の入会の際のスピーチも「運動は、見るのもやるのも好きです」という話をさせていただきました。



前は釧路湿原マラソンに参加して、川内君の早さに圧倒されたという話をさせていただいたのですが、昭和35年生まれで今年59歳になるのですが、まだアイスホッケーが止められなくてアイスホッケーを続けていて、社会人の4部のリーグと50歳以上のじじいのチームという「オーバータイマー」のチームでやっていて、来年60歳を迎えると「オーバー60」に行かなければならないのですけれども、自己申告でオーバー50の方にも残れるみたいなので、ちょっと意地を見せてオーバー50の方で、クレインズも新しいチームになりましたのでクレインズにスカウトされるようにプレーを磨いていきたいと思えます。

今日はどうもありがとうございます。

日本銀行釧路支店 支店長 熊谷 任明会員

ご紹介いただきました日本銀行の熊谷でございます。改めましてどうぞよろしくお願いいたします。



自己紹介的なことなのですが、最近ちょっと運動もしていないのでこのような体型になっているわけですが、学生時代、中学・高校のときは、オリエンテーリングというスポーツをやっていました。これは、地図とコンパス・方位磁針を持って、地図の中で定められていたチェックポイントを順番通り回ってタイムを競うことをやっていました。

大学のときは、結局半年弱と短かったですけれども馬術部に入っていて、ちょっと乗ったりはして、そういう意味で多少スポーツはやっておったのですけ

れども社会人になって、ゴルフも一時やっていたけれどももう20年くらいクラブを握っていません。

ちょっとジムに通っていたりしたこともありますけれども最近は無沙汰になっています。東京にいるときは、通勤時間が1時間10分もあって、それ自体が運動になったのですが、いまは幸い通勤も短くて済みますので、運動不足ということに危機感を持っています。こちらは大変自然にも恵まれていますし、なにか運動ができる機会を設けたいと考えている今日この頃でございます。

趣味としては、けっこう歴史などが好きですので、そういった本を読むことが多いです。あとは温泉、温泉は非常に好きでございますので、幸いこちらは良い温泉があるので、ぜひいろいろ巡りたいと思っています。あとは、先ほどご紹介いただいたように珍しく家族同伴で来ておりますので、家族ともいろいろ巡って良い思い出を作っていきたいと思えます。

ロータリーにもせっかく入れていただきましたので、いろいろ微力ながら活動をさせていただければと思っています。こういった企業や組織の枠を超えた団体というものは、過去に官民の参加している組織で活動をさせていただいたことも約10年前にありますので、そのときのことも思い出しながら参加させていただければと思います。「参加しないと良さがわからない」ということは正におっしゃるとおりだと思いますし、その時もそう実感しておりましたので、ぜひとも皆さまの仲間に加えていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

株式会社あんずカンパニー

代表取締役社長 須藤 隆昭会員

思わず靴が滑りましたけれども、こんばんは。あんずカンパニーの須藤です。よろしくお願いいたします。

「発想力は移動距離の二乗に比例する」と聞いたことがありますか。皆さんもそうですけれども、出張や旅行など、台湾にロータリーで行くなど、いろいろ移動をしていると思えます。

移動をすることで発想力が移動距離の二乗に比例して伸びていくということがあるらしいですね。ついこの間、僕はいま鍼灸の仕事をしているのですが、いつか日本一の鍼灸師になりたいと思っていました。なかなか偉大な先輩がいる中で、例えば治療技術の日本一、あるいは治療実績や営業力など、いろいろな日本一があるかもしれませんが偉大な先輩がいる所ではできなかったのですが、3年前に2つ、日本一にな



ることができました。それが、釧路で治療院をやりながら3,000 km離れた沖縄の宮古島に分院を持ったということで、実はいま日本一移動距離の持てる鍼灸師となっています。

それから宮古島は亜熱帯に属する所で、亜寒帯の釧路は半分夏・半分冬というところで全く違う所なのです。移動をして帰って来ると、30度の宮古島から11月に戻って来ると釧路の最低気温が0度とマイナスになっていて、体感気温の温度差で体感できる日本一の鍼灸師ということなのです。

本人は嬉しいというか、そんなところで日本一になっている場合ではないじゃないよ、というようなところなのですけれども、そのような移動をしながら仕事をしています。

最近、定住することで病気が広まったという本を読みました。縄文期は病気が少なかったのです。感染症が広まっても移動をしているからそんなに蔓延しなかった。弥生時代、農耕が始まってからの方が病気が増えた。脳の大きさも縄文期の人よりもいまの世界の人は15%減っていると言います。移動した方が皆さん元気になるということなので、いろいろなところへ移動することが良いのではないかと思います。

なにを言いたいかというと、釧路の皆さんが釧路の治療院へ来てくれることもすごく嬉しいのですけれども、ぜひ3,000 km離れた宮古島へ治療に来てくれると嬉しいと思います。

どうぞよろしく申し上げます。

NHK釧路放送局 局長 武久 普治会員

皆さん、こんばんは。この席でごあいさつをさせていただくのは、入会をお認めいただいた8月の1回目の会合以来であります。人生経験も積みましましたので、緊張することはないかと思いましたが、この間、お仲間に入らせていただいたときには、かなり緊張した記憶がございます。お盆休みを挟みまして先週の北海道電力さんの昼例会、それから今日ということで、何回か皆さんと席をご一緒することになりまして、前任者の言葉をしみじみと思い返しております。

私の前任者は山田というものですけれども、最初に引き継ぎでお話をされたことが、「ロータリーの方はみんな素晴らしく良い人だ」と言っていました。業務の引き継ぎより前にロータリーの話をしたので意外な気がしたのですけれども、実感として本当にいろいろ助けられて、これからの釧路ライフが楽しめる自信



を持たせていただいていると思っています。

釧路は、私は先ほどの日銀の熊谷さんと同じですけれども、来たことはありますけれども業務でこちらへ来るのは本当に初めてで、この席でも申し上げましたけれども西日本の生まれでありますから寒い所は苦手で、いろいろ懸念もしていましたけれども皆さんが本当に優しく温かく導いていただけることがよく分かりましたので、これから寒い時期を迎えますけれども、その時もしっかり皆さんの後をつけて行って釧路の良さ・素晴らしさをその時々、折々にまた感じられるようになっていければと思っております。

8月の頭でお話しをしたときは、ちょうど『ブラタモリ』が放送し終わったところでありました。もちろん皆さんのところにもいろいろご反応・反響などがあるかもしれませんが、「再放送はいつやるの」とか「もう一度やってくれ」という話がたくさん来ています。日本全国から釧路・根室地方はかなり、やっぱり注目されている、とわれわれも放送事業者として再認識させていただきました。ここでも申し上げましたけれども放送を通じて地域社会に貢献していくということが、私ども公共放送の役割でありますので、今後も皆さまにお知恵を拝借しながらやれることをやっていきたいと思っております。

まず、その第1弾として、明後日のクレインズの中継を総合テレビで午後3時からやらせていただきます。クレインズは、このところプレシーズンマッチの調子があまりよくないので心配していますけれども、たくさんの方が来られる予定になっておりますので、その模様を中継してわずかですけれどもエールを送って、地域のためになるような放送をやっていければと思っておりますので、皆さん、ご期待ください。

本当に今日は、ありがとうございました。

得地ファニチャ工業株式会社

代表取締役社長 得地 哉会員

改めまして、皆さん、こんばんは。スピーチがあると松井幹事に聞いていましたが、スピーチのお代わりがあることは聞いていませんでした。これが本番なのです。



私が8月1回目の例会におじゃまをさせていただいた時に一番ビックリしたことは、青島さんと、うん十年振りに再会したことだったので

す。1年間だけ同じ学校へ行っていて、まさかと思つて。名刺を交換したときに「私、会ったことあります」と言われて、「えっ」とお名前を見て顔を見て「あっ」とすぐ分かりました。思わず旧姓で呼んでしまいまし

たけれどもね。ありがとうございました。こんな出会いもあるのかということで、この団体には、このロータリーのお付き合いには、いろいろな意味で期待をしているところであります。

先ほど、杉村さんから「ザルだ」と言われた酒の方ですけれども、私が入会申込書の趣味に「ドライブ」と書いたのですが、実際は酒が趣味みたいなもので、休みの日は昼から飲むことがなによりも楽しみで、飲んでます。ただ昔をご存じの方には、もの足りないくらい飲まない男になってしまいましたので、本当につまらない飲み方しかできませんが、ぜひ夜の部は付き合っていたきたいと思えます。

先ほど天方会長から「出て、なんぼだ」というようなお話がありましたけれども、まず夜は絶対出ようと思っておりますので、ぜひよろしくお願いたします。

先ほど、あんずカンパニーの須藤さんの「移動距離の二乗」というお話がありましたけれども、私も札幌に自宅がありまして、住民票は釧路なのですが札幌にも家族は札幌におりまして、札幌と釧路を往復することが多いのです。あえて車で移動が多いのです、タバコを吸うということもありまして、それで。「移動距離の二乗」を聞いたのですけれども、どうにも私はそれを会得できていないと思えますので、これからがんばって会得していきたいと思えます。

すみません。つたない話でございましたけれども以上でございます。ありがとうございました。よろしくお願いたします。



締めくくりに声

皆さん、元気でしたか。もうやらないと思っていたのですけれども、いま、あっちからアピールが出たので。協会長からも「俺のとき以外はやるなよ」と言われていましたけれども、今日は楽しく飲ませていただきましたので、もう一度、元気ですか、皆さん。もう一度、元気ですか。

本日は、『新入会員歓迎例会』ということで、どうですかね、楽しかったですかね。得地さん、楽しかったですか。

ありがとうございます。これが釧路クラブなので。本当にいつも楽しく飲んで、笑って、語って。バカなことをしても大先輩達は怒らずに。でも、大幅に外れたときはトントンと肩を叩かれますので、それがあります。でも、大先輩の背中を見ながらいつも歩んでいるようなクラブでございます。



今日は着席をさせてもらいましたが、ちょっと生意気を言わせていただきます。いま現在もガバナーが必死で声を枯らしながらがんばってお話しをしています。

それはなにかというと、会員増強のことです。会員増強を話しています。なぜかということ、昨年度、RIが120万人を切りました。それはなぜか。何万人・何十万人入れても何万人・何十万人が退会しているということなのです。バケツでいうと、穴の空いた中で退会していく、それを防ごう。また入れようと90分ですよ、ガバナーは本当に喉を枯らしながらお話しされていることを僕は4回聞きました。いま頭に入っていますけれど、本当に感動しました。

われわれのクラブも今日100名になりました。でも、何なにもやらなければ95・90・85と僕の年度だと減っていく可能性がありますので、皆さん、特にがんばって会員増強をして行こうではないかということをお願い申し上げまして、3本で締めたいと思えます。よろしいでしょうか。

ご唱和をよろしくお願いたします。1回目より2回目大きく、また3回目大きくということで、地区大会の成功に向けて皆さんの気持ちをひとつにして、締めさせていただきます。ご唱和よろしくお願いたします。

Return
to
Top

Return
to
Web Site